

正誤表

ページ	誤	正
6 ページ 中段	「本報告は、・・・ BSU (Business As Usual)シナリオと、・・・」	「本報告は、・・・ BAU (Business As Usual)シナリオと、・・・」
18 ページ 中段	「・・・貨物部門の輸送量 (<u>人</u> ・km) は 0.5% / 年それぞれ増加する。」	「・・・貨物部門の輸送量 (<u>トン</u> ・km) は 0.5% / 年それぞれ増加する。」
21 ページ 下段	「原子力の新規立地に関する議論が 今度 どのように展開するか不確実性が高く、・・・」	「原子力の新規立地に関する議論が 今後 どのように展開するか不確実性が高く、・・・」
40 ページ 上段	「 <u>ガスの供給が需要に追いつくまで(もしくはコスト高になるまで)</u> 、最近の急激なガス需要の高まりはガス価格を上昇させ、他の燃料に対するガスの競争力に深刻なマイナスの影響を与えるであろう。」	「 <u>ガスの供給が需要に追いつかない(もしくはコスト高になる)</u> とすると、最近の急激なガス需要の高まりはガス価格を上昇させ、他の燃料に対するガスの競争力に深刻なマイナスの影響を与えるであろう。」
47 ページ 中段	「 <u>天然ガスやウランを含む化石燃料に依存することは、燃料価格の変動、燃料の入手可能性に関して日本が脆弱になることを意味するので、天然ガスやウランを含む輸入燃料に依存することは、エネルギー・セキュリティを低下させる。</u> 」	「 <u>化石燃料(特に天然ガス)への過度の依存によって、燃料価格や燃料の入手可能性の変動に対して日本が脆弱になる</u> という意味において、 <u>天然ガスやウランを含む輸入燃料に依存することはエネルギー・セキュリティを低下させる。</u> 」
49 ページ 下段	「・・・および 気候変動問題に関する海外専門家の嫌悪感を含む、原子力政策へ影響を与える他の要因(すでに述べた経済、環境、軍事等)が複数存在する。 」	「・・・および 海外における概して好ましくない気運など、原子力政策へ影響を与える複数の要因(すでに述べた経済、環境、軍事等)が存在する。 」

変圧器の省エネ効果に関する訂正

本シナリオ報告書では、需要部門の計算に 2001 年の委託研究『温暖化問題解決の WWF シナリオ』(梶屋治紀氏著) の計算結果を組み込んでいますが、その 2001 年の同報告書の中で、一部の技術(変圧器の効率改善)の省エネ効果に関して、計算ミスによる過大見積りがあることが後に判明しました。これに伴い、本シナリオ報告書における同技術の省エネ効果にも誤差が出ています。詳しい訂正内容に関しましては、下記の WWF ジャパンのウェブサイトをご覧ください。

この誤差は、当然、本シナリオ報告書の試算にも影響がありますが、問題となった変圧器の効率改善は対策技術全体の一部であるため、その影響は微小であると判断し、シナリオの再計算を再委託する予定はありません。ご了承ください。

URL : <http://www.wwf.or.jp/climate/powerswitch/psjpn03.htm>